

政策の実効性を高める横断的・総合的施策

直面する環境課題を解決し、「未来を拓くグリーンでレジリエントな世界都市・東京」を築き上げていくためには、分野別の施策のあり方を踏まえ、横断的・総合的に取組を進めることが不可欠です。行政だけではなく、都民、企業、団体など、東京に集積する全ての主体と相互に連携を図りつつ、主体的かつ積極的に環境対策を進めていきます。

政策の実効性を高める横断的・総合的施策

施策の取組状況

2023年度の主な取組と課題等



2024年度の主な取組

1 都民、企業、団体等と連携した事業展開

都民や企業等を積極的に巻き込みながら更なるムーブメントを醸成

- 「Tokyo Cool/Warm Home & Biz」の普及啓発
 - ・イベントの実施、各局開催イベント等で都民に直接H T TをPR
 - ・チラシやステッカー等の事業者自らの取組PRツールを展開するなど、多様な主体と連携したH T Tの取組を実施

- チームもったいない
 - ・「もったいない」の意識を伝える活動の普及を図り、個人の消費行動の変容を促進
 - ・オンライン広告等広く都民にアプローチするためのより効果的なオンライン発信の実施

(実績) 登録者数：団体336 個人861名
(2024年2月28日現在実績)

- Clear Sky実現に向けた大気環境改善促進事業
 - ・都民参加型イベントの開催や、学校への出前授業などの普及啓発等を行い、機運醸成を促進(再掲)
- (実績) 登録数：事業者 287団体 個人 230名
(2024年6月30日現在実績)

<課題>

- ✓ 理解度向上だけでなく、都民や企業等の行動変容を促す取組が必要

都民や企業等を積極的に巻き込みながら更なるムーブメントを醸成

- 「Tokyo Cool/Warm Home & Biz」の普及啓発
 - ・ファミリー層をコアターゲットとして、テレビCMやWEB広告のほか、メディアタイアップ記事など多様な媒体を活用
 - ・イベント来場者を対象とした体験型イベントを実施
 - ・「HTT」に加え、国の「デコ活」にも参加し、脱炭素化に向けた取組を強力に推進

- チームもったいない
 - ・本事業について広く都民にアプローチするため、インターネット広告等を活用したより効果的な情報発信の実施



- Clear Sky実現に向けた大気環境改善促進事業
 - ・優れた原因物質削減対策に取り組む企業の好事例を、コンテストを通じて他事業者や都民に広く発信し、大気環境改善を促進(再掲)

- 大学と連携し、大気中の二酸化炭素を効率よく回収し有用な炭素資源を合成・供給するカーボンステーションの開発に向け、DAC*装置及び電解装置の設計を実施

* DAC : Direct Air Capture 直接空気回収技術

政策の実効性を高める横断的・総合的施策

施策の取組状況

2023年度の主な取組と課題等



2024年度の主な取組

2 人材確保・育成、行動変容の促進

- 企業、関係団体、区市町村等との連携を図り、環境学習事業を通じて、持続可能な未来や社会づくりのために行動できる人材を育成
- 場所と時間を選ばず環境学習ができるよう、動画を制作・配信

■ 小学校教員を対象とした

環境教育研修会参加者数：65名

■ テーマ別環境学習講座申込者数：527名（2023年度実績）

■ 廃棄物埋立管理事務所における環境学習 東京都廃棄物埋立処分場施設見学者数：40,222名（2024年3月）

- 小学生を対象として、こどもがうちの環境リーダー「環境局長」になって、家族で楽しみながら節電対策などの環境アクションに取り組める事業を実施（「わが家の環境局長」事業）

＜小学校教員を対象とした環境教育研修会＞



- 緑地保全活動に関する多種多様な活動情報を、Webサイトを通じて分かりやすく発信し、自然体験活動を促進

■ Webサイト「里山へGO!」会員登録者数：（累計）：5,384名（2023年度実績）

■ 保全地域体験プログラム参加者数：907名（2023年度実績）



- 環境学習事業を通じ、将来を担う世代の育成を支援
- 環境教育研修会や環境学習講座においては、昨年度参加者の興味関心や最新情報を踏まえたテーマを設定し、フィールドワークを積極的に実施するなど、参加者が総合的に環境に関する知識を体感することができる学習内容で実施
- 小学生を対象として、こどもがうちの環境リーダー「環境局長」になって、家族で楽しみながら節電対策などの環境アクションに取り組める事業を実施（「わが家の環境局長」事業）
- 新たなボランティア人材の掘り起こしと定着を図るため、保全地域において、森の手入れや、田植えや稲刈りなど田んぼの活動、自然観察やクラフト体験など、未経験者でも参加しやすい自然体験活動を企画・実施

政策の実効性を高める横断的・総合的施策

施策の取組状況

2023年度の主な取組と課題等



2024年度の主な取組

3 区市町村の主体的な取組への支援と連携強化

- 区市町村が実施する取組のうち、都の広域的な環境課題の解決に資するものに対して財政支援
(2022年度実績)
補助金交付確定額：630,557千円
補助金交付自治体数：56自治体
 - 「区市町村との連携による地域環境力活性化事業」の実績などを踏まえ、環境基本計画に掲げる2030年目標達成に向けた、区市町村への新たな補助事業の創設を検討
- <課題>
- ✓ 地域の環境課題に取り組む区市町村の状況を踏まえ、各自治体の実情に応じた連携・支援が必要
 - ✓ 都内の広域的な環境課題の解決に向けて、自治体間の連携の輪を広げていくことが必要
 - ✓ 他の区市町村等へ拡がることが見込まれる先進的な取組を誘導し、都全体の環境政策を加速させる仕組みが必要

- 環境基本計画に掲げる2030年目標達成に向けて、集中的・重点的な支援を行う「区市町村との連携による環境政策加速化事業」を創設
 - 過去の活用状況や申請事業等を踏まえ、補助対象が重複するメニューを統合・整理し、これまで区市町村が実施してきた環境施策を更に後押し
 - 新たな申請区分として、「将来性ある先進的事業」を創設。カーボンハーフやネイチャーポジティブなど、都が掲げる2030年目標達成に向けて、東京全体を牽引する先駆的かつ波及性のある、区市町村の創意工夫による取組を強力に支援
- 区市町村との情報共有・意見交換を通じてニーズや課題を把握し、各自治体の実情に応じた連携・支援を実施



政策の実効性を高める横断的・総合的施策

施策の取組状況

2023年度の主な取組と課題等



2024年度の主な取組

4 国際貢献・国際発信（海外の諸都市及び企業等との連携）

- C40やICLEIなどへの参画を通じて、世界各都市の気候変動対策等の情報収集をするとともに、ワークショップ等の活動に積極的に参加して都施策を発信
(実績) 海外来訪者の受入 17件／175名
海外への職員派遣 10件／34名

- COP28のハイレベル会議に参加し、世界の都市リーダー代表として気候行動を呼びかけるとともに、都の先進的な取組を発信

COP28 Local Climate Action Summit



- TIME TO ACT:都市における再エネ実装加速化をテーマにフォーラム2023を開催



- HENCA Tokyo 2023:国際的なサプライチェーンの構築や技術開発を一層進めるため、水素国際会議を開催



<課題>

- ✓ 世界の環境課題解決をリードするグローバルパートナーシップ、実務者レベルの交流強化が必要
- ✓ 戦略的な海外広報を強化していくことが必要

- 環境課題解決に向けて、C40 やICLEI、ICAP等の国際ネットワーク、国際会議等の場を積極的に活用し、海外諸都市等との連携を深化させるとともに、都が有する知見の共有や積極的な働きかけを通じて、国際社会に一層貢献



- COP29のハイレベル会議に参加し、気候変動対策における都市の役割や都の先進的な取組を発信

COP29 LGMAハイレベルセッション



- HPやSNS（英・日）に加え、上記国際ネットワーク等が有する広報媒体や海外メディアも活用し、世界をリードする都の先駆的施策を効果的に発信

- TIME TO ACT:
「都市から呼びかける気候アクション」
をテーマにフォーラム2024を開催



- 水素国際サプライチェーン構築等に向け、HENCA Tokyoの開催や合意書締結による海外都市等との連携強化により、グリーン水素の社会実装化を加速

